

令和4年度全国学力・学習状況調査結果

☎ 教育委員会管理課 学校教育グループ
☎ 01456-2-2451

【調査対象】 小学校6年生(81名)
中学校3年生(71名)
【調査実施日】 令和4年4月19日
【調査内容】
○教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
○生活習慣や学習環境等に関する調査

全国に近づいた小学校、全国を越えた中学校

小学校は、国語と算数が昨年度より全国平均との差を縮め、理科は全国平均を上回りました。また、中学校については、全教科(国語、数学、理科)において全国平均を上回りました。



校種	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国平均(%)	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3
日高町平均(%)	65.0	62.0	64.0	71.0	52.0	51.0
全国との差	-0.6	-1.2	+0.7	+2.0	+0.6	+1.7

【小学校】《成果◎と課題△》

《国語》

◎「言語の特徴や使い方」の領域が全国平均を上回った。

△「書くこと」の領域は、正答率が低く全国との差も一番大きい。(差：-7.1ポイント)

《算数》

◎「図形」の領域が全国平均を上回った。

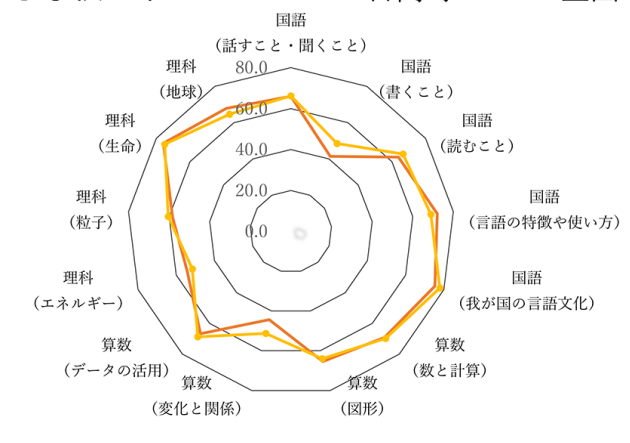
△「変化と関係」の領域は、正答率が低く全国との差も一番大きい。(差：-6.9ポイント)

《理科》

◎「エネルギー」「生命」「地球」の3領域が全国平均を上回った。

△「粒子」の領域は、全国平均に達しなかった。(差：-2.1ポイント)

小学校6年



【中学校】《成果◎と課題△》

《国語》

◎「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語の特徴や使い方」の3領域が全国平均を上回った。

△「書くこと」の領域は、正答率が低く全国平均に達していない。(差：-1.4ポイント)

《数学》

◎「図形」「関数」「データの活用」の3領域が全国平均を上回った。

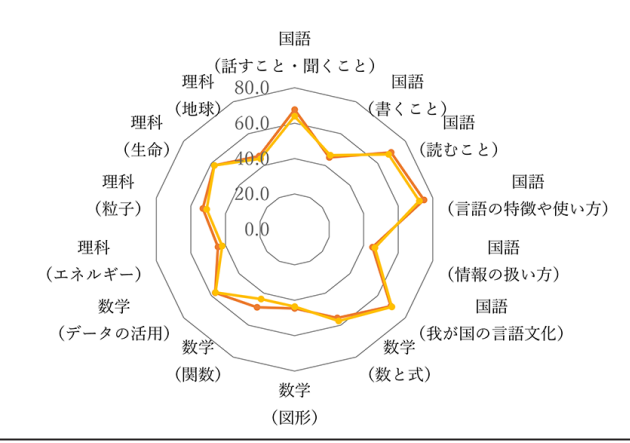
△「数と式」領域は、全国平均に達しなかった。(差：-1.9ポイント)

《理科》

◎全領域(「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」)で全国平均を上回った。

△「エネルギー」と「地球」の領域は、全国平均以上ではあるが正答率は50%以下である。

中学校3年



育てたい子ども像

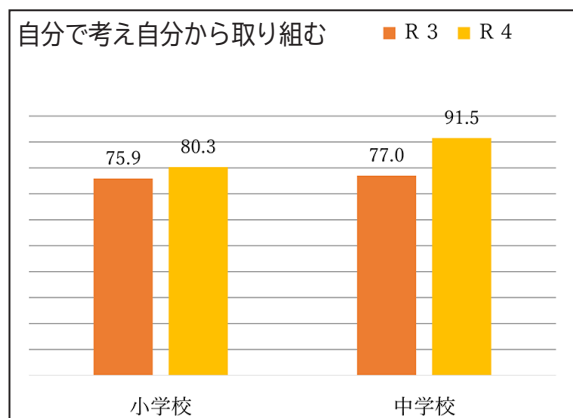
～日高町学力向上3年次計画（R3～5年度）より～



日高町では、育てたい子どもとして、令和3年度から右記のような子ども像を設定し、その具現化に向けて全小・中学校で取り組んでいます。

- ◎課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組む子ども
- ◎難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦し続ける子ども
- ◎予習や復習など、家でも自分で計画を立てて勉強する子ども

◆ 自分で考え自分から取り組む子どもが増えています ◆



【自分で考え自分から取り組む】

() は全国平均

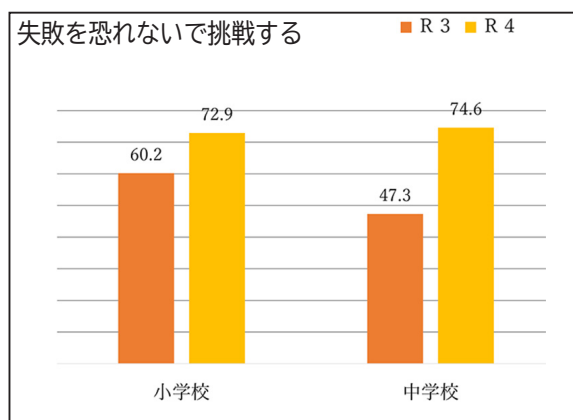
◎小学生80.3% (77.3%)

◎中学生91.5% (79.2%)

※回答は「当てはまる」+「どちらかという当てはまる」

◇令和3年度に比べ、小・中学生ともに増加し全国平均も上回りました。自分なりに試行錯誤しながら学習し、主体的に課題を解決しようとする子どもが増えています。

◆ 失敗を恐れなくて挑戦する子どもが増えています ◆



【失敗を恐れなくて挑戦する】

() は全国平均

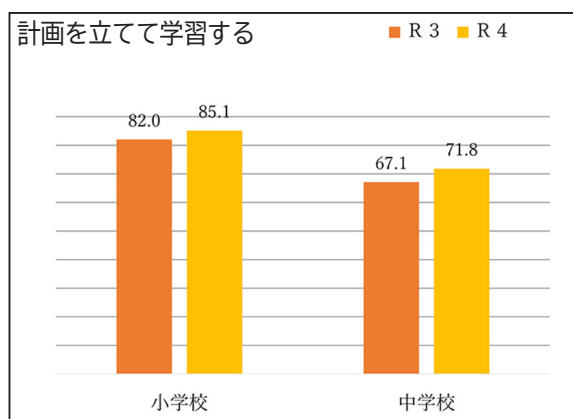
◎小学生72.9% (72.5%)

◎中学生74.6% (67.1%)

※回答は「当てはまる」+「どちらかという当てはまる」

◇令和3年度に比べ、小・中学生ともに増加し、全国平均も上回りました。特に中学生の増加率が高く、苦手なことでも積極的に挑戦しようとする子どもが増えています。

◆ 自分で計画を立てて学習する子どもが増えています ◆



【計画を立てて学習する】

() は全国平均

◎小学生85.1% (71.1%)

◎中学生71.8% (58.5%)

※回答は「当てはまる」+「どちらかという当てはまる」

◇令和3年度に比べ、小・中学生ともに増加し全国平均も上回りました。しかし、1時間以上学習する子どもの割合は、小学生59.3%、中学生49.3%と5～6割程度にとどまっています。